

本県の感染者数（11月～）

資料 1

（参考）月別感染者数

月	感染者数 (人)	備考
3月	3	
4月	14	
5月	0	
6月	0	
7月	140	
8月	202	
9月	6	
10月	2	
11月	145	
12月	270	
1月	865	1/19 時点

緊急事態宣言を発令

1日当たり新規感染者数が
100人を超え過去最多

感染拡大緊急警報を発令

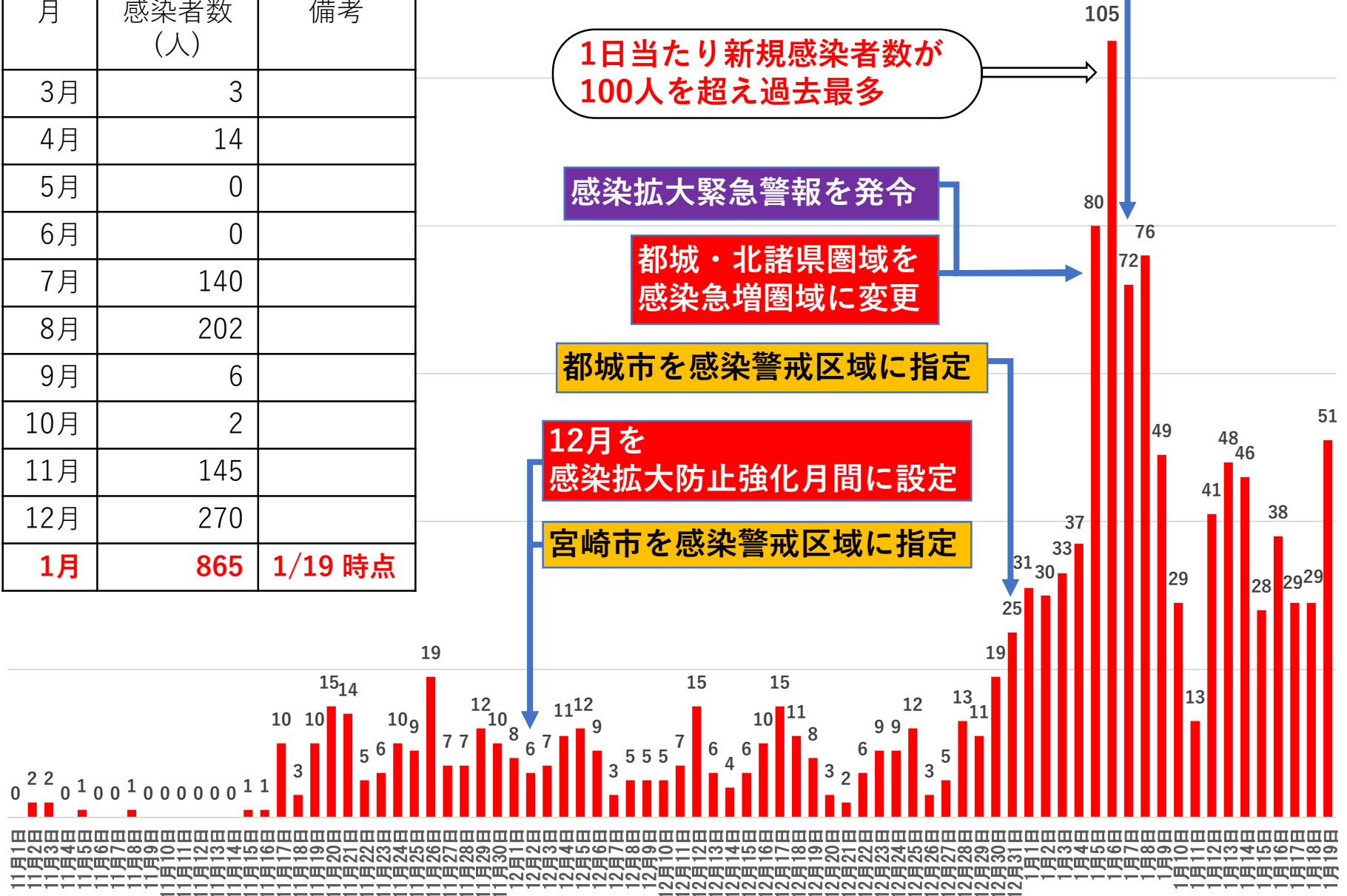
都城・北諸県圏域を
感染急増圏域に変更

都城市を感染警戒区域に指定

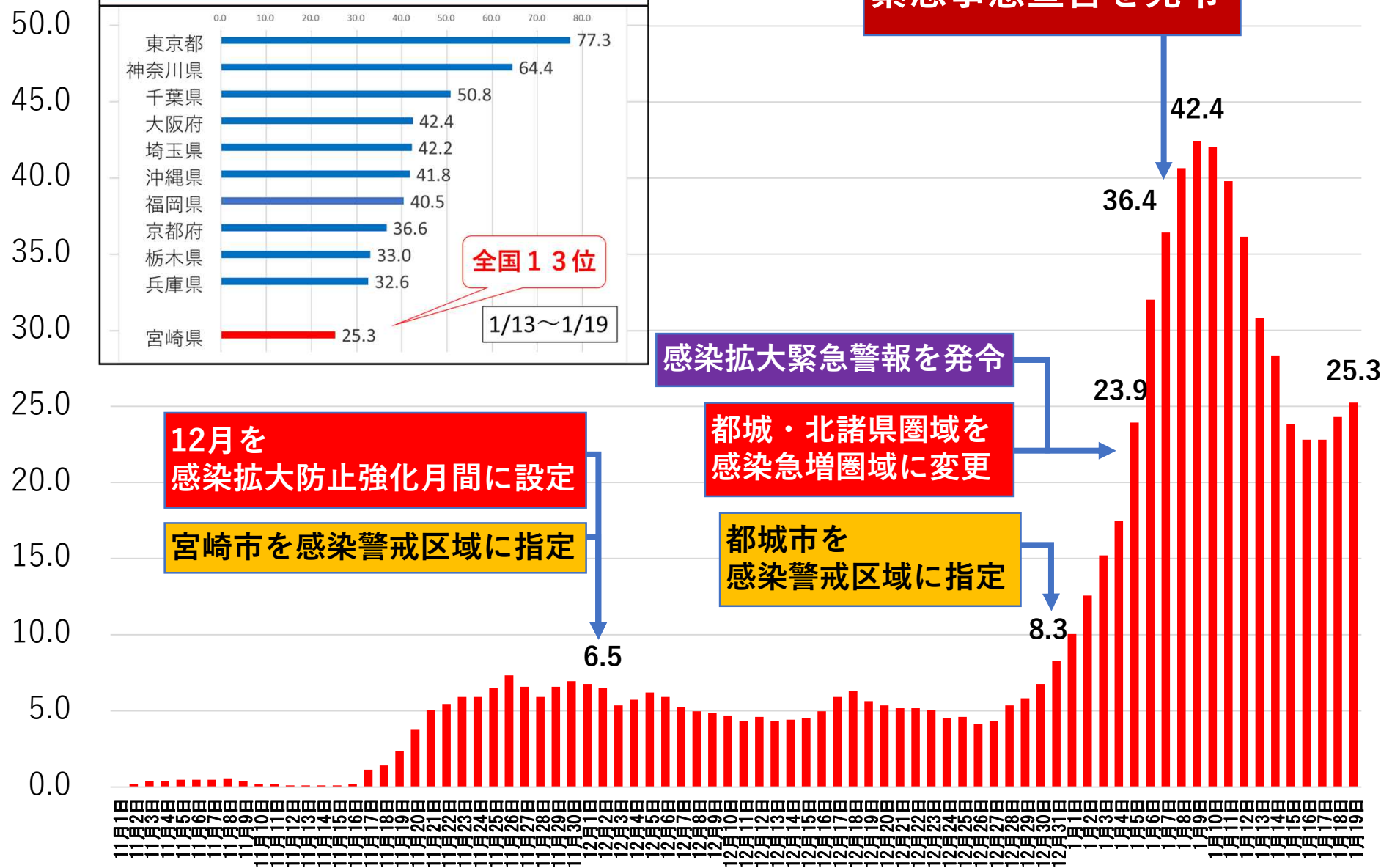
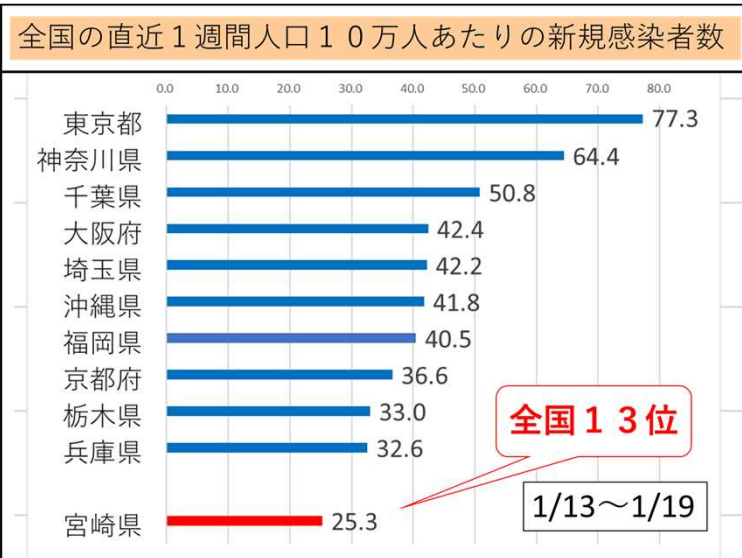
12月を
感染拡大防止強化月間に設定

宮崎市を感染警戒区域に指定

100
80
60
40
20
0



本県の直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数



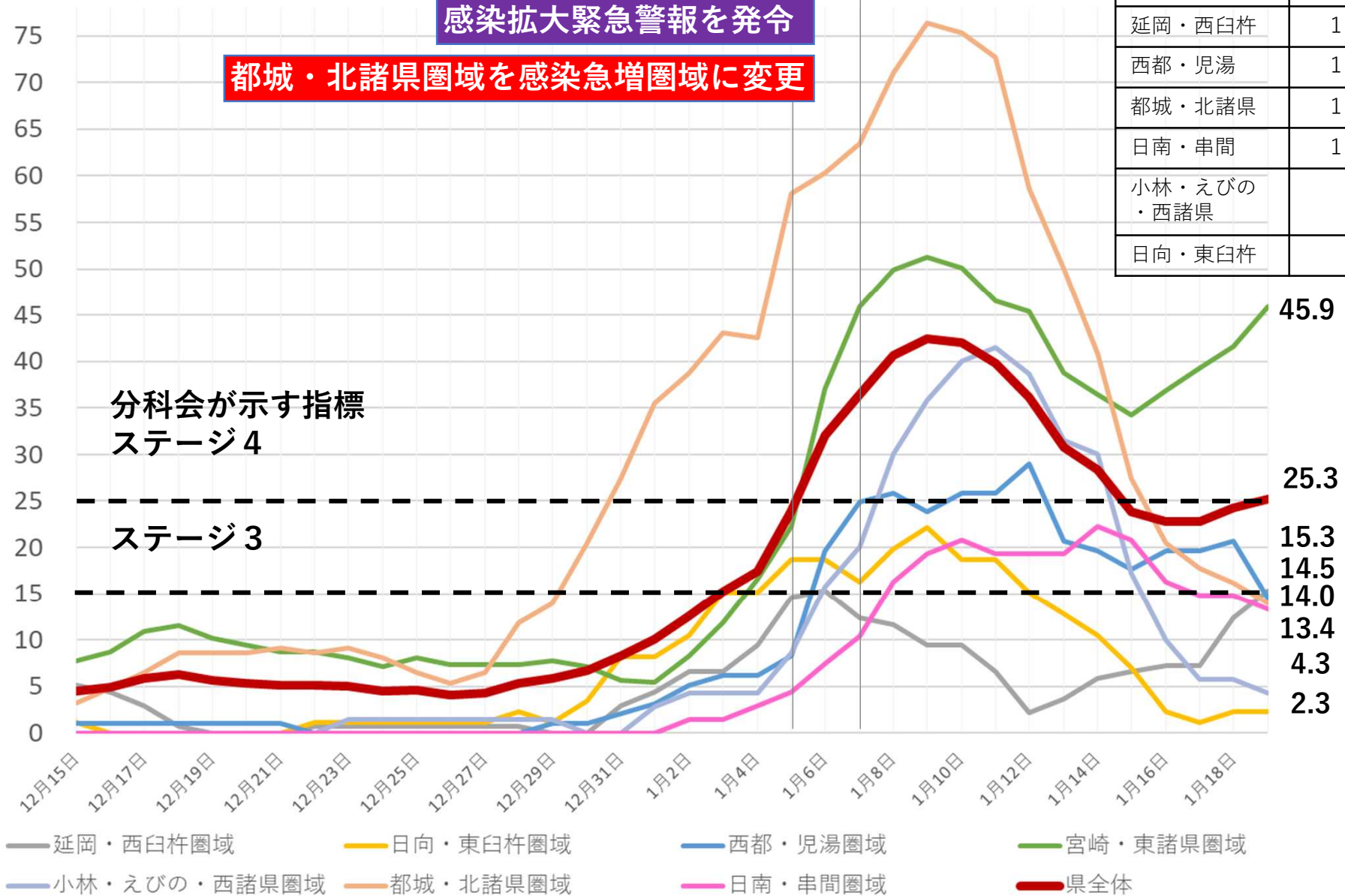
全圏域の感染状況（直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数）

緊急事態宣言を発令

感染拡大緊急警報を発令

都城・北諸県圏域を感染急増圏域に変更

県全体	25.3
宮崎・東諸県	45.9
延岡・西臼杵	15.3
西都・児湯	14.5
都城・北諸県	14.0
日南・串間	13.4
小林・えびの・西諸県	4.3
日向・東臼杵	2.3



国の新型コロナウイルス感染症対策分科会が示す指標における本県の状況

現時点で本県は **ステージ4相当** の状況にあります

指標			現状値	ステージ3の目安	ステージ4の目安	備考
医療提供体制等の負荷	①病床のひっ迫具合 (現時点の確保病床数の占有率)	病床全体	38.6%	25%	50%	・1月19日時点
		うち重症者用病床	24.2%	25%	50%	・1月19日時点
	②療養者数 (人口10万人あたりの全療養者数)		34.5人	15人	25人	・1月19日時点 ・全療養者数：入院者、宿泊・施設等療養者、入院・療養調整中の方等を合わせた数
体制監視	③PCR等陽性率		6.0%	10%	10%	・1月7日から1月13日まで ・(保険適用検査分を含む) ・陽性者数/PCR等検査件数
感染の状況	④新規報告数 (直近1週間の人口10万人あたりの感染者数)		25.3人	15人	25人	・1月13日から1月19日まで
	⑤直近1週間の感染者数と先週1週間の感染者数の比較		-116人 (直近269人) (先週385人)	直近の感染者数 > 先週の感染者数	直近の感染者数 > 先週の感染者数	・直近1週間 1月13日から1月19日まで ・先週1週間 1月6日から1月12日まで
	⑥感染経路不明割合		24.8%	50%	50%	・1月9日判明分から 1月15日判明分まで

ステージ1	感染散発段階	感染者が散発的に発生
ステージ2	感染漸増段階	感染者が徐々に増加 医療提供体制への負荷が蓄積
ステージ3	感染急増段階	感染者数が急増 医療提供体制に支障
ステージ4	感染爆発段階	爆発的な感染拡大が起き 医療提供体制が機能不全に

令和3年1月5日短評(12/24~1/6)

1 感染者数、感染経路等

感染者は、急増して過去最高となっており、面的にも県内2圏域でステージ4、4圏域でステージ3の状況にある。県内全域で爆発的に感染が拡大している。また、感染経路不明な例も続発している。

2 感染等の特徴

県外との往来に端を発した感染が、会食、職場、家族・親族等を通して拡大している。特に、宮崎市や都城市では、高齢者施設、延岡市では運動施設でクラスターが発生している。

3 感染者の状況等

無症状者・軽症者が多く、重症者は少ないが、重症化リスクの高い高齢者が増加している。また、基礎疾患のある高齢者の死亡が続いている。

4 医療提供体制等

療養者数・入院者数が急増しており、深刻な医療提供体制の機能不全に直面する恐れ

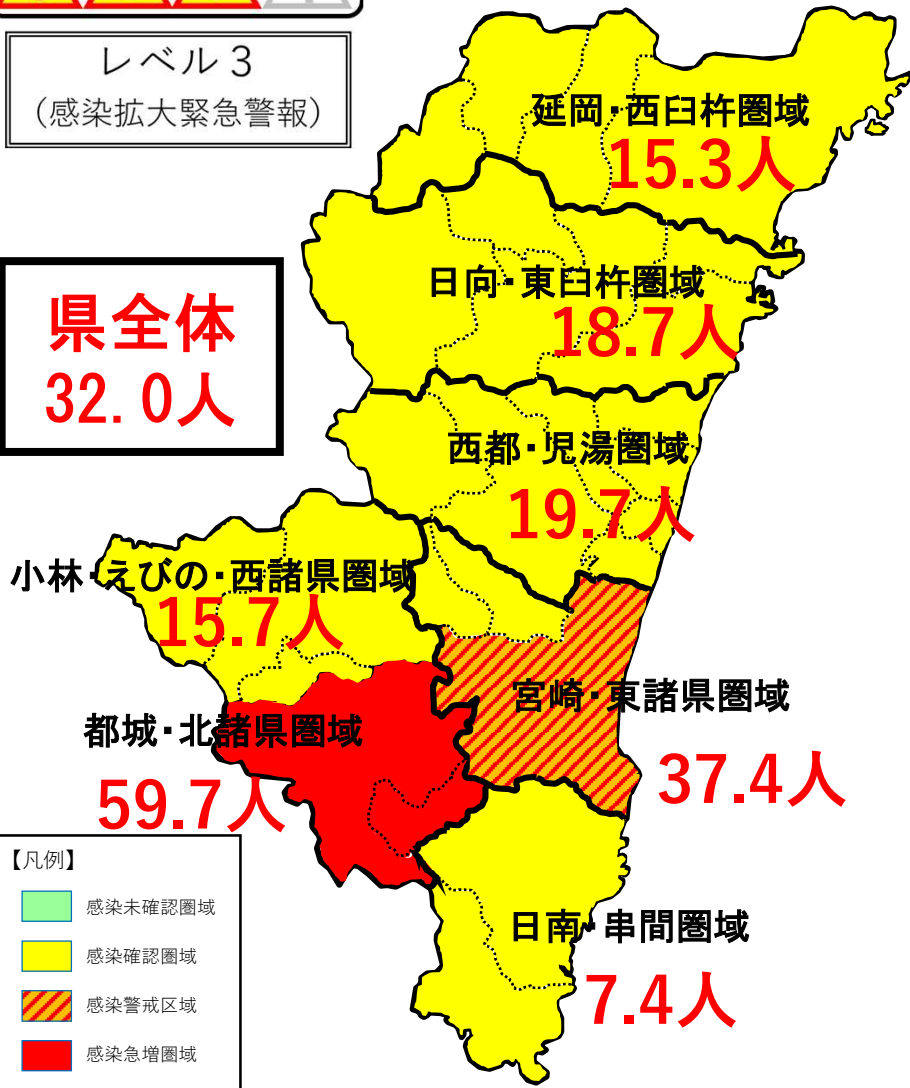
※下線部は、先週から評価が変更した箇所

直近1週間の人口10万人当たり感染者数



レベル3
(感染拡大緊急警報)

県全体
32.0人



【凡例】
 感染未確認圏域
 感染確認圏域
 感染警戒区域
 感染急増圏域

令和3年1月6日時点（1098例目まで）

令和3年1月20日短評(1/6～1/19)

1 感染者数、感染経路等

感染は、先週の爆発的な急増と比較して今週は減少してはいるが、十分に鎮静化していない。面的にも宮崎東諸県圏域はステージ4、4圏域でステージ3相当の状況にあり、保険適用検査が増加し、感染経路不明な例がまだ残る。

2 感染等の特徴

年末年始の人の移動や県外者(帰省等)との接触到に端を発した感染が、会食、職場、家族・親族等を通して拡がり、宮崎市で感染が続いているほか、他圏域での感染の火種が残る。特に、高齢者施設、医療機関、スポーツジムなど、クラスターが続発。

3 感染者の状況等

基礎疾患のある高齢者の死亡が続き、また、行政検査により無症状者が多く確認されている。

4 医療提供体制等

医療提供体制のひっ迫が極めて深刻化。重症者が過去最多、宮崎東諸県圏域では実質的に満床に近く、入院調整が綱渡りとなり、他圏域への搬送が続く。

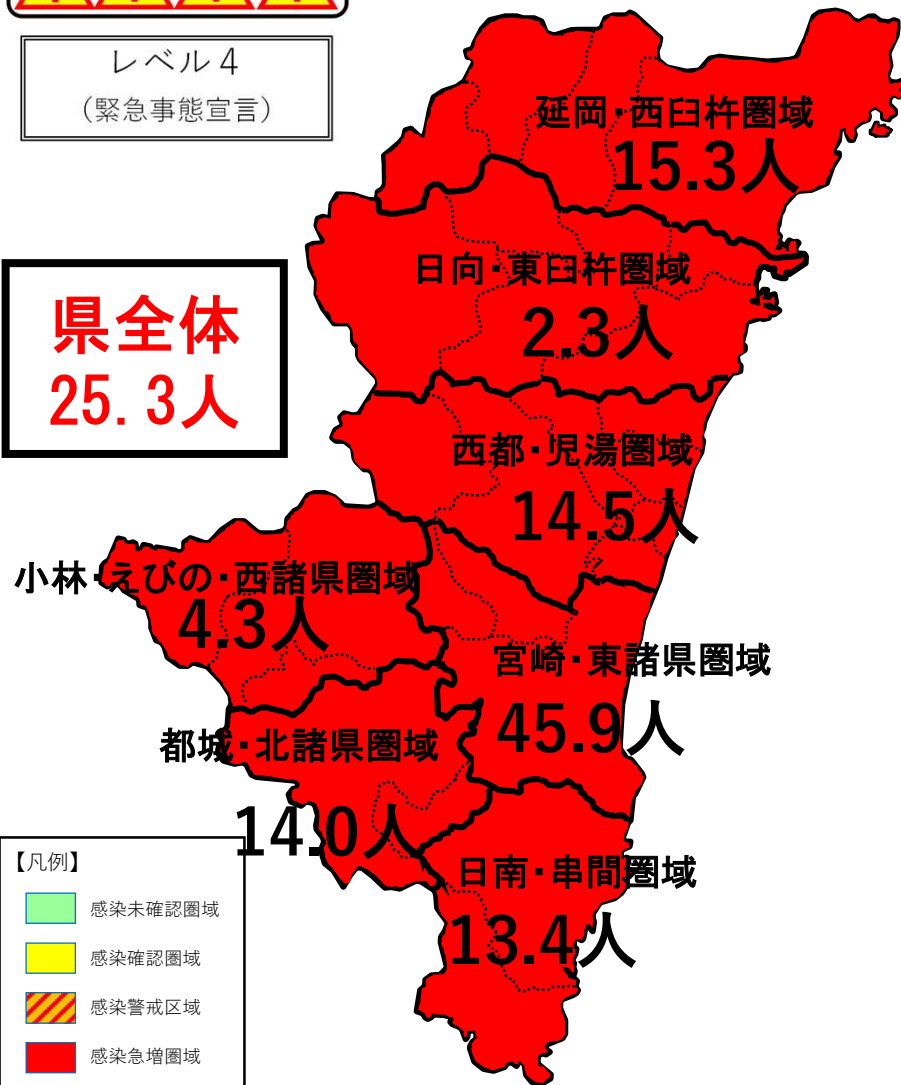
※下線部は、先週からの主な変更箇所

直近1週間の人口10万人当たり感染者数



レベル4
(緊急事態宣言)

県全体
25.3人



【凡例】

- 感染未確認圏域
- 感染確認圏域
- 感染警戒区域
- 感染急増圏域

令和3年1月19日時点（1647例目まで）

感染状況の分析（推定）

○県独自の緊急事態宣言で爆発的な感染拡大が続く事態は防げた

- ・県民をあげての行動変容・ご協力に心から感謝

○ただし、感染者数が高止まり

- ・宮崎市を中心に、年末年始などに県外者（帰省など）から会食等の場で感染した陽性者（2次感染、3次感染）で、無症状・軽い風邪症状などで自らの感染に気づかない人が一定数残り（感染経路不明）、そうした方々が家族・親族や高齢者施設等での感染につながっている
- ・ほとんどの住民はご協力いただいているが、一部、十分にご協力いただけない方がいて（感染実例資料参照）、その方から多人数の感染（2、3次感染）、そこから家族・親族の感染（3、4次感染）につながり、ひとりに端を発して最終的に数十人規模の感染になることも

○十分な鎮静化にはもう少し時間がかかる

- ・第三波では、感染者数も非常に多く、3次、4次以降の感染まで広がっているため、現時点では十分に鎮静化していない（接待を伴う飲食店でのクラスターなどが感染拡大の主因であり、2次、3次感染までが主であった第二波よりも鎮静化に時間がかかる）
- ・今後、感染経路不明者が一定数残り、宮崎・東諸県圏域以外でも火種が残るため、今後、各地で高齢者施設等でのクラスターが起こる可能性も

⇒**緊急事態宣言を今しばし継続した上で、**

- ・**県民一丸での行動要請の徹底（人との接触機会減等の徹底）**
 - ・**高齢者施設等での対策強化**
- などを進めて行く必要**

本県の感染概況

1. 感染の拡がり（12月～）

【感染者数（人）】

	11/30 -12/6	12/7 -12/13	12/14 -12/20	12/21 -12/27	12/28 -1/3	1/4 -1/10	1/11 -1/17
県外との往来・接触	8	1	6	8	<u>14</u>	<u>31</u>	16
職場等	10	<u>15</u>	4	3	12	37	16
接待を伴う飲食店等	7	9	12	7	16	37	15
会食等	2	1	10	1	12	<u>95</u>	<u>43</u>
家族・親族	14	12	14	12	<u>50</u>	<u>137</u>	<u>73</u>
学校活動・スポーツジム等	0	0	0	0	22	<u>33</u>	0
高齢者施設	17	3	5	12	24	<u>7</u>	11
不明	5	5	6	3	11	<u>72</u>	<u>69</u>
合計	63	46	57	46	161	<u>449</u>	<u>243</u>

2. 感染者の状況

- 新規感染者数は、緊急事態宣言の発令により、先週のような爆発的な状況から減少。
- しかし、宮崎市を中心に感染が高止まりしており、県下全域においても感染の火種が少なからず確認されている。
- 県外者との往来・接触による感染（1次感染）は減少したものの、会食や家族・親族を通じた感染（2次感染）、さらに、高齢者施設への拡大（3次感染）がみられる。
- 感染経路不明の数が増加し、過去最多の割合となっている。

本県での感染実例（推定）

帰県者との接触のケース

・ 県外から帰省した若者 A と会食した宮崎の若者 B が感染し、発熱したにもかかわらず、1 週間、医療機関を受診せず、感染を拡げた恐れ

飲食店のケース

・ 職場仲間で飲みに行き、お客同士で感染し、その後、職場に感染が広がった。

（お店側は、ガイドラインを遵守しており、店員からお客への感染ではなかった。）



職場のケース①

・ 体調が悪かったが、無理して出勤したら、職場の同僚にうつしてしまい、集団感染になった。



職場のケース②

・ 休憩時間に、数人で、喫煙所でマスクなしで会話をしていたら、感染してしまった。



ホームパーティのケース

・ 同じ職場の仲間でホームパーティを行い、感染してしまった。



セミナーのケース

・ 受講生は、全員マスクをしていたが、講師がマスクなしで至近距離で、講演したところ、感染してしまった。



カラオケのケース

・ 複数組の高齢者が、カラオケ店に行ったところ、集団感染となった。

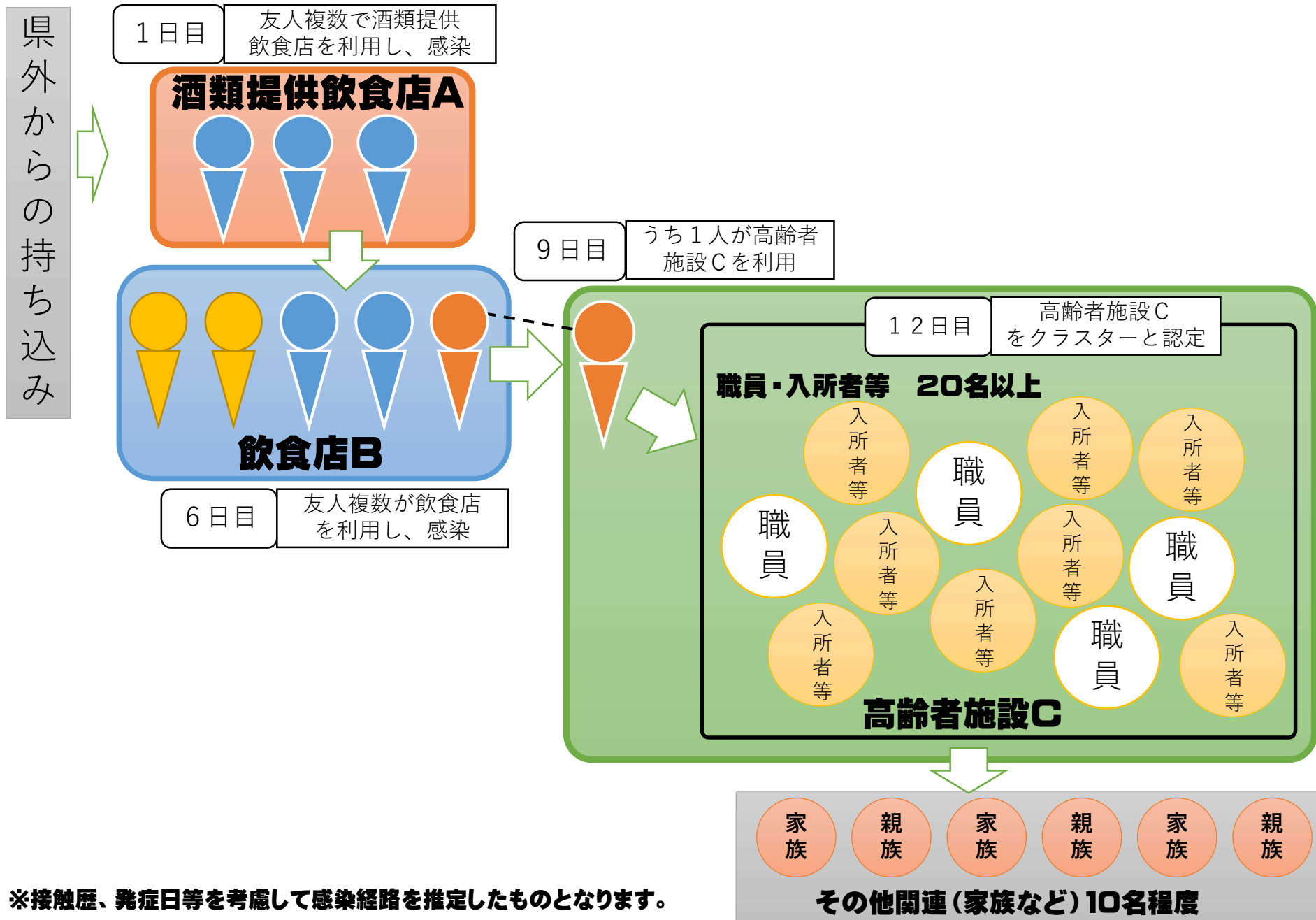


運動施設のケース

・ 運動施設で、休憩中や更衣室で、マスクを取って会話（水を飲む際も含め）をしていたところ、集団感染となった。



本県の累次感染の実例



※接触歴、発症日等を考慮して感染経路を推定したものとなります。